

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
社会保障制度							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	3期	岡村 忠彦				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	社会保障制度			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師が活躍する社会現場において、医療人として必要となる社会保障制度ならびに職業倫理を学習する。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復療養を取り扱う柔道整復師にとって、療養費制度をはじめ社会保障制度全般の知識を身につけることにより、適切に保険請求を行える能力を養う。また職業倫理に関する考察を深めることにより、柔道整復師として果たすべき社会的責務を理解し、実践できるようになることを目標とする。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	・社会保障・社会保険制度・医療保険制度について学習し、社会保障制度の基本を説明できる。 ・療養費制度を学習することで、療養費請求の基礎を説明できる。 ・職業倫理に関する学習を通じ、柔道整復師としての社会的責任とその対応について説明できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
本講義内容の理解を深めるため、補足資料を配布するので講義・教科書と併用して学習すること。							
教科書・参考書							
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(医歯薬出版)							
受講上の注意							
適宜、宿題を課すことがあるので、確実に取り組むこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	社会保障制度				p1~4		
第2回	社会保険制度				p4~7		
第3回	医療保険制度				p7~17		
第4回	療養費制度				p19~20		
第5回	柔道整復療養費				p20~33		
第6回	療養費請求のケーススタディー				p34~48		
第7回	医療従事者の職業倫理				p49~52		
第8回	柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応				p52~55		
第9回	柔道整復師の社会的責任と対応				p56~65		
第10回	定期試験					筆記用具	
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
okamura-t@nihonisen.ac.jp							